



脚本



— SMILE!

karasuno10

死

S
M
I
L
E
!

烏野
博史

人物

笹浦晃 (13) 中学生

藁井治虫 (35) 自衛官

笹浦真人 (7) 晃の弟、小学生

日比野優 (50) 自衛官

主婦

女性

女の子

避難者達

① 森元中市湾岸

雪が降る湾岸。

地鳴り。震える家々。

町に津波が流れ込み家々を押し流す。

高台に立つ笹浦晃あき（13）と笹浦真人まこと（

7）は驚愕の表情。

② 瓦礫の山

瓦礫が山積している。瓦礫の山に登り
深刻な面持ちで瓦礫を漁る晃と真人。

T・一週間後

辺りを見回し泣きそうな真人。

真人「いた？ 兄ちゃん」

晃「いない」

わらいおさむ

藁井治虫（35）がやってくる。藁井は

晃と真人の登る瓦礫の下にかけよる。

藁井「おーい」

晃と真人は藁井の方を見る。

藁井「危ない。降りろ」

晃「なんであんたの言うこと聞かなくちやな

らないんだ？」

藁井は微笑む。

藁井「危険な所は俺達にまかせろ」

晃「そのニヤケ面が信用できない——」

足を踏み外す晃。

足元に空いた空間に落ち込む晃と真人。

瓦礫の下の空間に晃と真人。真上に広

がる空を瓦礫が隠す。

晃と真人の目の前の瓦礫がどかされて、

藁井が顔を出す。

暗い顔の真人。

晃は藁井を睨みつける。

藁井「ガムがあるけど、食う？」

③ 道路

晃、真人、藁井は道を歩く。

口角を上げ、ガムを噛む真人の口元。

口角を下げ、ガムを噛む晃の口元。

笑顔の真人の横を不服そうに歩く晃。

前方を、満足気に歩く藁井。

地鳴りと微少な揺れ。

晃、真人、藁井は立ち止まる。

晃「今揺れた」

藁井「揺れたか？」

真人「揺れたよ」

藁井が屁を放つ。

晃「……」

真人「……」

藁井「ふうー」

こらえきれず、真人は笑う。

藁井「うけた」

晃「(即座に)受けてねえよ」

藁井「ああそう。弟には受けてるぞ」

晃「そこまで、子供じゃない」

藁井は笑う。

藁井「笑つとけ。そんな顔じゃもたないぞ。

ふう」

晃は我慢できずに笑う。

道向こうにそびえる松原小学校体育館。

晃、真人、藁井の前には水没した道路。

藁井「建物のそばを通るのは危険なんだ。倒れるかもしれない」

真人「でも道は水びだしだよ。冷たい！」

真人は水につけた手を引っ込める。

晃「水の中を渡っていけって事だろ」

水没した道路。

晃「真人行くぞ」

靴を脱ぐ晃。

真人はかぶりを振る。

笑顔の藁井は真人の前で屈みこみ自分の肩を叩く。

藁井「肩車、するから乗って」

真人は藁井の肩に乗る。

藁井「兄貴はちよつと待ってろお」

藁井は立ち上がる。

水に沈む車。

腿まで水につかり、水没した道路を渡る藁井の横を、腰まで水につかりながら歩く晃。手には靴と写真を持ち、体を強張らせながら歩く晃。

晃「冷ってー！」

溜息をつく藁井。

真人は藁井の肩の上で嬉しそう。

晃「ちえっ、楽しそうにしゃがって……ああ、

TVみてえ。今日、何曜日だっけ？」

真人「日曜日！」

藁井の肩の上で真人が苦い顔をする。

真人「ゴセイジャーが見れないよお」

晃「ゴセイジャーなんて幼稚なのより、プリ

キュアだろ」

藁井は微笑む。

藁井「二人ともそういうの好きなのか」

晃と真人は顔を見合わせる。

晃「母さんは仮面ライダー響ひびきのファンだから」

真人「（同時に）お母さんは仮面ライダー響ひびきのファンだからね」

晃と真人は顔を見合わせる。

晃「……ゴセイジャーとプリキュアの間の時

間に放映してる」

藁井は笑う。

藁井「承知。日曜なら、俺はサザエさんかな」

真人は泣きそうな顔になる。

晃「おい泣くな！」

真人「お母さん！」

藁井「……お母さんの手がかりなんかはある？

身に着けていたものとか」

真人は涙ぐんでいる。

晃「いつもダイヤモンドの首飾りをしてる……

……ああ写真持ってたんだ」

晃は母の写真を藁井に見せる。

藁井「美人じゃないか！ 名前は!？」

嫌そうな顔をする晃。

藁井「俺にまっかせなさい！」

晃「何言ってるんだよ。おっさん」

藁井、晃、真人は笑う。

④松原小学校・体育館前

主婦が炊き出しを行っている。その前に立つ晃、藁井、真人。避難者達が体育館前に集まり、一様な方向を向いて

立っている。

机の上に食べた後の食器が二つ。主婦は食器を手取る。

主婦「日曜日……私はちびまる子ちゃんね」

サイレンがなる。主婦、晃、真人、藁井は顔から笑みを消す。

号令があり、避難者達は黙祷する。

晃、藁井も避難者達と同じ方向を向き黙祷する。

辺りを見回す真人の頭を抑える晃。

晃「（小声で）黙祷だ」

不服そうに訝しそうに真人は、避難者達の見よう見まねで黙祷する。

黙祷をしながら、晃、真人の様子をみて微笑む藁井。サイレンは鳴り続ける。

⑤ 同・体育館中

ストロブに当たる真人と晃。

あたりを見回す晃。晃を見守る真人。

真人「お母さんを見つけてくれるかなあ」

晃「どうだか……」

晃は立ち上がる。

⑥道路

一部浸水する道路。ひびのゆたか 日比野優（50）と道を歩く藁井。藁井の目の前、浸水した道路の先に倒壊しそうな建物がある。

日比野は笑う。

日比野「僕は天才バカボンだなあ」

藁井「あれ日曜日でしたっけ？」

水没した道路。

藁井と日比野は離れ、辺りを探る。

藁井の視界。水辺の奥、瓦礫のそばで光るもの。

水からあがる藁井の足。

瓦礫の前に立つ藁井。

ダイヤモンドの首かざりを見つける藁井。晃の写真の女性が倒れている。鼻を押さえて、眉をしかめる藁井。

藁井「おい！」

日比野の騒ぎ声。藁井は振り返る。
水辺の向こうに日比野。その隣に晃と
真人が立っている。
藁井は晃に向かって微笑む。
藁井の背後の瓦礫が藁井の方に崩れる。
表情を失う晃と真人。

⑦ 森元中市立体育館

大量の棺が並べられている。真人のす
がる棺には晃と真人の母の名のラベル。
棺には藁井の名のラベルの前に立つ晃。
晃の隣に女性がやってきて、藁井の棺
にすがる。
鼻を赤くする晃は藁井の方へ寄る。
涙でグチャグチャの真人の顔。
真人の頭をなでる晃。

晃「泣くな……」

⑧ 松原小学校・体育館前

避難者達と晃、真人が集まる。

T・さらに一週間後

サイレンが鳴る。晃、真人、避難者達が死亡者へ捧げる黙祷。

仮設テントが増えている町並み。

手袋をつけ、リュックを背負う晃がかける。その後をかける真人。

晃「行くぞ真人！ 父さんを探すんだ！」

晃の前方、とぼとぼと歩く女の子を横切ろうとする晃。地面が揺れる。立ち止まる女の子と晃は顔を見合わせる。

真人が追いつく。

驚いた顔の晃。

今にも亡きだしそうな顔の女の子。

機械のようにピタリと停止する真人。

晃は屁を放つ。

真剣な表情の晃。

晃「……ふう」

あっけにとられる女の子。

ケラケラと真人の声が瓦礫の町を木霊する。